

製品名: DHA キナーゼウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09958**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:200-1:1000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:20-1:50,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	59kDa

抗原情報

遺伝子名	DAK
別名	DAK; Bifunctional ATP-dependent dihydroxyacetone kinase/FAD-AMP lyase; cyclizing
遺伝子 ID	26007.0
SwissProt ID	Q3LXA3
免疫原	抗血清はヒト DAK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

背景

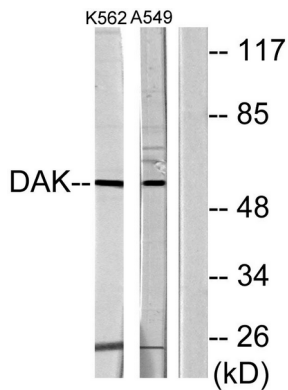
この遺伝子は、他のキナーゼとは異なるタンパク質構造を有するジヒドロキシアセトンキナーゼファミリーのメンバーです。この遺伝子産物はジヒドロキシアセトンをリン酸化しますが、FAD からリボフラビン 4',5'-リン酸（別名サイクリン FMN）の形成を触媒し

ます。複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが同定されていますが、全長が決定されているのは1つだけです。
[RefSeq 提供、2008年7月]、触媒活性: ATP + グリセロン = ADP + グリセロンリン酸、触媒活性: FAD = AMP + リボフラビン環状4',5'-リン酸、補因子: マグネシウム、補因子: マンガンまたはコバルト; FAD-AMP リアーゼ活性に関与する。、酵素制御: 各活性は、他方の基質によって阻害される。、機能: ジヒドロキシアセトンのリン酸化とリボヌクレオシド二リン酸-X化合物の分解の両方を触媒する。FAD はこれらの基質の中で最も優れた基質である。、類似性: ジヒドロキシアセトンキナーゼ (DAK) ファミリーに属する。、類似性: 1つの DAK1 (ジヒドロキシアセトンキナーゼサブユニット1) ドメインを含む。、類似性: 1つの DAK2 (ジヒドロキシアセトンキナーゼサブユニット2) ドメインを含む。、サブユニット: ホモ二量体。、

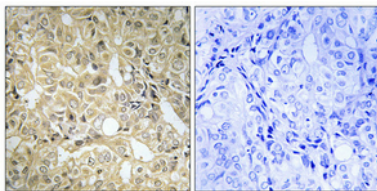
研究分野

グリセロ脂質代謝; RIG-I 様受容体;

画像データ



K562 細胞および A549 細胞のライセートを DAK 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



パラフィン包埋ヒト前立腺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。